

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きりしま総合発達支援センター つぼみ				公表日	2026年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		概ね適切と思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		利用児の多い日、少ない日とあるため総体的にみると適切と思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	バリアフリー、環境上の配慮は適切である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	子ども達が気持ち良く快活に活動出来るよう準備している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	他の事業所と連携が図られている、今のままで良いと思う。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	分らないです。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		意見を求められる機会が少ないため、広く改善されているとはおもわない。 →年2回の面談、日頃の朝礼、個別支援計画会議、その他ことあるごとにスタッフの意見は聞いています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			第三者委員会のメンバーを増やしてはどうか。 →第三者評価はありません。外部評価は今年度、実樹児発で行います。来年度以降、他事業でも検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		いろんな研修の機会があり、職員の資質向上に繋がっていると思う、		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			関わることがないため、工夫、改善等についてはわからない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		ニーズや課題を分析し計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		検討されている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画に沿った支援がなされている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	良く分らないです。 →ツールについては適切に用いられていると思います。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		されていると思う。児発管、担当で行なっている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		児発管、担当で行なっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		子ども達が飽きないよう、経験が積みれ、新たな視点で参加出来るよう活動内容は常に検討されている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		事業所としては、行なっている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		業務遂行に努力している。もっと良好に出来ないか、考慮している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3		参加できていない。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		事業所として行なっている。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		事業所として行なっている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童の現状、課題を把握した者が出席している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		機会はない。 →今のところありません	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	子どもの良好なご様子等については、お伝えはしている。			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		これからの課題と思う。 →研修としての機会はありませんが、日々の支援の中で家族支援、子育てプログラムとして情報提供していますが、確認してください。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			「はい」と答えたが、良く分からない。 →契約時に行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		担当者が現状を伝え、さらなる向上を目指して家族と向き合っていると思う。			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		現状で良いと思う。(個人的に関与していない)	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		家族からの悩み相談については、私自身把握していない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		コロナ禍で家族会開催が中止となったりしたこともあった。まずは家族会を再開してもいいのでは。 →兄弟支援、その際の保護者交流を行なっています。仰々しく●●会とするだけが交流ではないと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		対応の体制整備については良く分からないが、相談申し入れがあった場合は適切に出来ていると思う。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		今のところでは出来ていないが、3ヶ月～半年に1回程度の発信はしても良いと思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			今のままで良いと思う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			当事業所では、できていると思います。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		これからの課題だと思う。 →年末行事に地域の方を招待しました。また、防災協定で近隣の方と協力しています。近隣の方と会ったときに声を出してあいさつするなど日常的な交流がまず第一だと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		職員には行っていると思うが、家族の緊急対応(お迎え時)わかばがに行っているが、マニュアルの小冊子を作成し、年1回でも訓練等実施できたらいいと思う。 →緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。契約時には保護者へ説明し、出入口にもファイリングした物を置き周知を行っています。訓練に関しても月に1回施行し、訓練の実施も一斉メールで報告しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			避難訓練は行われているが、救出訓練はしていないため行った方が良いと思う。 →BCPの認知もまだ十分ではありません。順序を追って行いましょう。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			されていると思うので、現状で良いと思う。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			主治医との連携が図られているので、現状で良いと思う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			行われていると思います。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			口頭や掲示板等で周知されているので良いと思う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			事業所毎に公表されているため、今のままで良いと思う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			入職者(新人)への研修を年2回は、あった方が良いと思う。 →虐待防止委員会で検討してもらいます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			良く話し合われていると思います。